



# あけまして おめでとう ございます

## 年頭のごあいさつ

理事長 柳町 弘美



あけましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり、昨年の6月の理事長就任以来、組合員の皆様始め多くの方々のお声やご協力に支えられてきたことに改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

本年も組合員、職員が一丸となり、共同の精神で邁進してまいりたいと思います。引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

さて東日本大震災からはや6年、福島では今なお多くの方々が避難生活を余儀なくされています。私たちの地元である常総市の水害でも未だに帰る家のない人々がみなし仮説のアパート等で暮らしています。

昨年4月に熊本、10月に鳥取、11月に東北と地震が相次ぎ、9月には台風が宮古や岩泉を襲い、私たちの鮮魚、雑穀の生産者を直撃しました。職員も疲れているだろうにいやな顔ひとつもせず、業務後週末に交代で現地の支援に入り、協同の精神を実践してくれました。本当に頭が下がります。

東京電力福島第一原発事故や放射能汚染に気を

取られている際に、いつの間にか遺伝子組み換え食品、農薬（特にネオニコチノイド系農薬）、殺虫剤、合成洗剤、食品添加物等の化学物質が身近にあふれ私たちの生命と環境が脅かされています。

特に次世代の子供たちのことを考えたら、私たち組合員も「安い・簡単・便利」に惑わされることなく、その裏側に潜む問題に意識を向け、今何を大切にすべきか考えていかなければなりません。

昨年開催した生協市民公開講座「GM食品と農薬」でも欧州では栽培が禁止されている遺伝子組み換えや、規制が強まっている農薬が、日本では規制がほとんどされておらず、子供たちの発達障害や草食系男子が増える原因となっているとのことです。その中でも、有機農業の生産者が言われた『知っているだけでは自己満足にすぎない。他の人達に伝えていかなければ』との言葉が今も心に残っています。

私たち一人一人は微力だけれど、組合員が結束していけば大きな力にもなります。

今こそ常総生協の力の見せ所です。私たち組合員、職員が生産者と共に力を合わせ社会を変えていく第一歩を踏み出しましょう。本年もよろしくお願い申し上げます。

### 【2017年1月の予定】

●生協基幹運営／地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
1. 14 (土) じょうそう朝市 (本部前)	1. 6 (金) 茨城県生協連新春交流会・理事会 (水戸)
1. 15 (日) つくばまめいち	1. 12 (木) 「茨城の大地震に備える」勉強会 (生協本部)
1. 17 (火) 茨城県による監査	1. 13-14 (金・土) 生協ネットワーク21 経営トップ会議
1. 25 (水) 第9回 定例理事会	1. 21 (土) とみせ幼稚園みそ作り支援
1. 28 (土) 常総生協業者会総会 (スターズ研修センター)	1. 26 (木) 東海第二原発運転差止訴訟第16回弁論期日

## 2017 年度共同購入事業の立て直しへ 専務理事 伊藤

新年あけましておめでとうございます。  
 昨年は熊本震災、岩手の台風 10 号による土砂災害と災害が続いた年でした。近年の社会情勢もめまぐるしく、私たちを取り巻く環境も日々変化しています。相次ぐ食品偽装や危険輸入食品問題等で、食品に対する安全性意識が高まっていますが、反対に衣・食・住にかけ家計の支出を抑え、保険、医療、交通、通信、教養、娯楽の方への支出が増えており、支出の多様化が進んでいると言えます。

高橋徳治商店の高橋代表が「自分たちが苦勞して稼いだお金を何に使うのですか?」と問いかげられますが、本当にその通りだと思います。便利な世の中のおかげで、今では当たり前のように支払っている携帯電話代等は、

昔はありませんでした。子どもたちは外でゲーム機で通信対戦をして遊んでいる姿や、わずか 3 歳でタブレットやスマートフォンを自分で操作して動画を観ているのを見て驚愕しました。デバイスの多様化による私たちの暮らしが、子どもたちの運動能力の低下を起こして、人との関わりを持てなくなったり、様々な問題が起こっていると感じます。

「自分たちが苦勞して稼いだお金を何に使うのですか?」をもう一度皆で考えていきましょう。本当に大切なのは「命」であり、「命を育む食」の大切さを伝えていける協同組合でありたいと思います。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

(専務理事 伊藤)

### 共同購入コース編成のお知らせとお願い(2月4回供給週からスタート)

生協職員による配達を堅持し、組合員の食とくらし、地域の課題を共にできる生協をめざして地域(エリア)ごとに配達コースをまとめ、柔軟に対応できる地域担当制を敷きます。地域ごとのコースに編成し、供給担当全員で同じエリアを同じ曜日に供給することで、業務の連携、効率化を図ります。

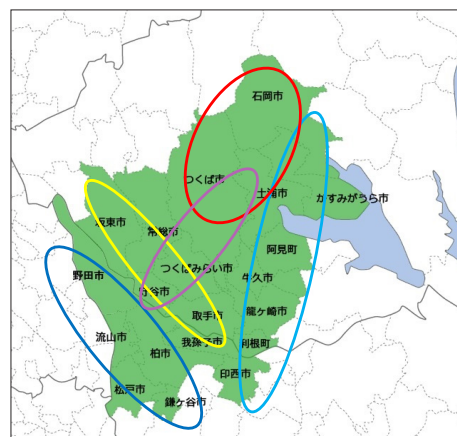
## 2017 年 2 月 4 回からのコース再編成イメージ図

現状の供給コース

現	月	火	水	木	金
1	赤	白	赤	白	赤
2	青	紫	青	紫	青
3	赤	黄	紫	黄	赤
4	紫	紫	紫	紫	赤
5	赤	赤	青	青	黄
6	青	青	青	青	青
7	赤	赤	黄	青	青
8	青	青	青	青	青
9	赤	赤	青	赤	青
10	黄	黄	黄	紫	青

2月4回新コース(イメージ)

2	表	表	表	守	も
月	城	城	城	番	は
	北	東	横	から	ば
	部	部	断	本	エ
	エ	エ	エ	上	リ
	リ	リ	リ	エ	ア
1	赤	青	黄	紫	青
2	赤	青	黄	紫	青
3	赤	青	黄	紫	青
4	赤	青	黄	紫	青
5	赤	青	黄	紫	青
6	赤	青	黄	紫	青
7	赤	青	黄	紫	青
8	赤	青	黄	紫	青
9	赤	青	黄	紫	青
10	赤	青	黄	紫	青



毎日バラバラのエリアを担当が供給している状態です。

毎日近くのエリアを供給担当が回るようなイメージです。

まだ、雑駁ですがこのように地域単位での供給コースを検討しています。曜日、時間など細かい調整が必要になりますので、個別にお知らせしていきます。現状では、コース状況によって供給担当がいけない所は供給エリア外となっていました。しかし今回のコース編成で供給担当が近くのエリアを同じ日に回ることによって、お互い助け合いながらエリアの幅を広げていく事ができます。組合員さんから「このエリアいってる?」の声に答えられる様になります。ご迷惑をおかけしますが、何卒ご協力下さいます様、宜しくお願い申し上げます。

## 福島第一原発事故「自主避難者から住宅を奪わないで！」 福島から 東電福島第一原発事故「自主避難者の住宅支援」 3月打ち切り



自主避難者による  
福島県知事への  
「直訴状」



昨年12月4日、蕙（むしろ）旗をかかげて福島県庁へ

### 「避難の権利」は、みんなの問題

(茨城県) 那珂市在住 谷田部 裕子



私は福島県の出身です。2011年に起きた東京電力福島第一原発事故によって多くの知人・友人が被ばくし、避難し、そして汚染地で暮らしています。私自身は1999年の東海村JCO臨界事故で中性子被ばくし、毎年健康診断を受けてきました。

福島原発事故後はふるさと福島に通い、福島の仲間と一緒「原発いらない福島の女たち」や「福島原発告訴団」で活動し、支え合ってきました。茨城では「原発事故を二度と起こしてはいけない」との思いで常総生協のみなさんと一緒に、地元の原発・東海第二原発の運転をやめさせる住民訴訟の原告に加わっています。また関東の子どもたちの健康を長期に見守ろうと常総生協さんと協力して甲状腺検診をすすめてきました。

東海第二原発住民訴訟、関東子ども健康調査支援基金で一緒にいる生協大石さんより、自主避難者住宅補償の福島県知事への「直訴」の様子を生協の組合員さんに伝えて、と頼まれました。小さな文を寄せさせていただきます。

「命を脅かす被ばく」を避けるため、政府の避難指示が出ていない地域からやむを得ず避難している、いわゆる「自主避難者」への住宅無償提供打ち切りが2017年3月に迫っています。

このことを憂慮されている方も多いと思います。避難者の生活を思うととても許せないことです。そしてこの事の根っこにある人権軽視が社会に蔓延することを深く危惧します。

自主避難者への住宅無償提供「打ち切り」は2015年6月に福島県内堀知事が決定し、安倍首相が同意したことからはじまりました。

避難者・支援者らは、住宅提供の継続を求めて要請交渉を続け、県知事にも面談を求め続けてきましたが知事は会うことをしません。

思い余った避難者は福島県知事へ「直訴状」を書き、県庁に参じました。

また12月の福島県議会に「住宅供与継続を求める請願」を提出しようと、11/28から12/2の毎朝、寒風の中を県庁前に立ち、訴えてきました。県議全員に窮状を訴え土壌汚染の資料を送り、面会や電話で請願採択を訴えました。

直訴状を手に知事室へ向かうも、職員達が壁のように立ちはだかり阻止されました。

定例記者会見に向かい知事室を出てきた知事は、居並ぶ避難者には一瞥もなし。「知事は避難者に面会しないのか？」との記者の質問には、担当部局が対応すると回答。

30日には山形県の米沢市長が無償提供延長を求めて県庁を来訪したが知事は面会せず。



知事に直訴状を渡そうとして県庁職員に阻止される避難者ら



担当部局は自主避難者に対して「避難指示区域外はもはや避難を要する状況にない」と発言。

12月4日には福島市で「自主避難者の住宅無償提供継続を求める全国集会」が開かれました。



県会議員から「勝手に逃げた」と言われた避難者は、「わが子を守るため避難するのは当然の権利と思っていたが、私たちは復興の邪魔なのでしょう。本当は帰りたい。でも帰れる状況にない」と涙ながらに語っていました。

そのあと、福島市を行進しながらみんなに訴えました。



「直訴状」から紹介します。

「住宅が打ち切りになると、高校生の息子が学校へ通えなくなります。避難先でのコミュニティや友達のつながりを切らないでください。私たちは復興の邪魔をしているつもりはないのです、原発で人生が狂ってしまったのです。」

「いじめも原子力惨禍もそれは同じことです。なかったことにする、見ないことにする、臭いものに蓋が、どれだけ多くの子どもたちの未来を奪っていることが、そのことに全ての人が気づくべきだと私は思うのです。子どもたちの未来と健康を最優先に考えてください。」

切り捨てられる原発事故被害者。どうしたら助けて合ってゆけるか・・・。

加害者側は今や「原発の電気を使っただろう」と、脅しまがいに賠償費用・廃炉費用を電気料金に転嫁して国民に負担させる。この国のあり方。

私たちの問題として考えなければなりません。

## 組合員の地域活動から（つくば市の組合員）

**みんなで力になれることご協力を！**  
「福島原発事故避難者支援・茨城の会」  
連絡先は小張佐恵子さんまで  
(tel : 090-9108-0464)



常陽新聞 2016.12.2  
より転載

原発事故により福島県から自主避難してきた避難者への住宅無償提供が来年3月末で打ち切られる問題で、支援継続をつくば市や県に要請していくこと、市民と自主避難者が1日、「福島原発事故避難者支援・茨城の会」（連絡先・長田満江さん）を設立した。今後、つくば市や県に支援継続を働き掛ける。

福島の子もたちを土浦市などに引き保養の場を提供している市民団体「福島応援プロジェクト茨城」（長田満江代表）が、県内の自主避難者や支援団体に呼び掛けた。

1日、つくば市内で話し合いの場が持たれ、同市内のほか、土浦市、東海村などから市民や自主避難者が参加し、会の設立を決めた。今後、つくば市長や県と話し合い、自主避難者が引き続き国家公務員住宅に住み続けられるよう求めるなど、住宅支援継続を要請していく。

つくば市並木の国家公務員住宅に南相馬市から親子4人で避難している女性(36)は「3月末に出て行かなければならないが、子どもが小学校を卒業するま

## 福島原発事故

# 「避難者へ支援継続を」

住宅無償提供  
打ち切り  
つくば市民ら団体設立

であと5年くらいはそのまま居たい」など話した。

県と市によると、来年3月末に住宅支援が打ち切られるつくば市の自主避難者は、国家公務員住宅に15世帯、民間アパートに3世帯、県営住宅に1世帯

の計19世帯が居住しているという。県全体では福島からの避難者1612世帯3730人(11月時点)のうち、2355世帯561人(6月時点)が自主避難者という。

(鈴木宏子)

## 組合員、生産者、職員の広場

### ○本当に残念です。

くみあい粉石けん、リーズナブルで肌にもやさしくエコなのでいつも愛用していました。年内で販売終了になるとのこと、本当に残念です。今回沢山ストックを買います。

(つくば市 森馬さん)

### ○担当者 News 「コミヤマ」楽しみにしています♪

小宮山様ご夫婦で働いていらっしゃるの事、本当にお世話になっています。期待を持ちつつ、「コミヤマ」を楽しみにしています。

(つくば市 ニックネーム：ミルク色のみるくさん)

### ○驚きのうまさです。

高橋徳治商店のいわしだんご、とっても美味しかったです。白菜、しょうが等と鍋に入れ塩、しょうゆのみで味付け” スープがおいしいね” と家族にも大好評でした！おだんごからでるだし 驚きのうまさです。ごちそう様でした！！

(石岡市 宍戸さん)

### ○空中散布の記事悲しく思います。

伊藤専務の空中散布の記事を読み悲しく思います。3年前まで住んでいた守谷市松前台では、道路を挟んで研修センターの広い敷地があり薬剤散布の量も大量と思われました。何回か申し出た結果、隣接する方面の土地のみ散布を止めていただきました。

散布した日の夕刻、仕事から帰ると大気が白くにごっているような感じも受け、いやな空気が漂っていました。最初自治会に申し出たのですが、感心が低い事に落胆しました。今住んでいる利根町もえぎ野台では、団地の端のため田がすぐ近くです。

当初は田園風景に見とれていました。いろいろな動物の姿も見られます。家の周辺も田畑が多いのですが、作業より薬剤散布の光景が圧倒的に多く見られ残念に思います。ラジコンヘリも怖いです。

どの地域でも街路樹の空中散布があると思いますが、今の家の近くにもあり、散布後に虫がバタバタ落ちてくるのがかわいそうです。生態系が正常ならば鳥が虫を食べて木にも大きな害はないはず。剪定もこれでもかという位切られてしまうのなら、木も植えない方が良いのでは（低木にするとか）とも思います。回数な

どを減らしては？と利根町に問い合わせようといつも思うのですが、やはり感心が低いのでは？と思うと考えてしまいます。

(利根町 稲葉さん)

### ○助け合い、学び合う大切さ！

荒井さんの田んぼに農薬散布でネオニコチノイド系の農薬がまかれていたとのお知らせ、内容とともに対策までしっかり書かれていたと思います。うれしくない、悲しい出来ごとですが、伊藤専務や役職員のみなさまの姿勢や取組に胸にぐっとくるものがありました。生産者の人たちを大事にしながら、私たち常総生協の進む道をしっかり歩まなければいけません。意見を出し合い、助け合い、学びあう大切さを再認識しました。

(つくば市 西尾さん)

### ○荒井さんのもち米の件について。

荒井さんのもち米の件について、対応を読ませていただきました。いつも真摯な対応をされるその生協さんの姿勢に学ぶことがあり、また安心してお願いすることが出来ます。これからもよろしく願いいたします。

(松戸市 川上さん)

### ○情報！！

・柏市として実施は毎年7月頃だったかも。(定かではない)・隣接している所以我孫子市にも害があると思います。・去年？ネズミ駆除目的で農薬散布していました。

(我孫子市 島崎さん)

### ○みんながどのように生協商品を利用しているのか知りたい。

12/8のおせち試食会参加しました。カタログだけでは先に価格ばかり目に入ってしまうのですが、試食してとても自然な味で美味しい事がわかり、沢山食べなくても十分お腹一杯になりました。終わりに試食の余りを頂き夜家族に出したら好評でした。農薬と子供への影響の話等も聞け、参加して良かったです。人参ジュースは美味しかったが普段使いではさすがにちょっと高すぎて手が出ないかも…と思いました。また、子育て家庭（特に食べ盛りの子供がいる家庭）がどのように生協商品を利用して普段の料理を回しているのか工夫を知りたい。アンケート形式でも良いです。

(取手市 田中さん)



# 手作りみそ通信「やってみそ！」

## 今年もやって来ました！みそづくり！(^\_^)！

今ではすっかりお馴染みになりました、常総生協・冬の恒例行事「みそづくり」。組合員、職員一緒になっての取り組みも、もう23年になります。昨年は616人の組合員が1169kgの大豆を使ってみそづくりを行いました。

「みそは地域や家族をつないでくれるもの」。愛する家族のために、毎日愛情いっぱいのお味噌汁を作ってあげる事で、家庭の味、家族の絆、それら

が人間として育まれていきます。また、大豆を通して日本における様々な食料問題を知ることができ、生産者や畑にも思いを向けることができます。



これから各地区でみそ講習会を開催していきます。はじめての組合員さんも、スペシャリストの組合員さんも是非ご参加いただき、おすすめの作り方交流にしていきたいと思います！！

### NO. 474 「大豆基金増資」1口300円へのご協力をお願いいたします。

- 新しい組合員、ならびに今年新たに「みそづくり」に挑戦される組合員には大豆のご注文と合わせて「大豆増資」へのご協力をよろしくお願いいたします。
- 大豆1kgに対して1口300円の増資をお願いしております。大豆の備蓄資金+大豆生産共済掛け金（生産者との折半）として活用させていただきます。
- 「増資」に加算される形になりますので、通常の出資金に加算さ

れ脱退時に返却されます。  
 ■すでに大豆基金増資に参加して下さった組合員でも、追加増資できます。ぜひ今年もご協力ください！

注文書に「474」と記入し、数量欄に「口数」をご記入ください。3月1回まで受け付けています

## 手作りみそアンケートにご協力下さい。

みそ通信「やってみそ！」では組合員さんからのアンケートを募集しています。裏ワザ、好みの味、保管場所の工夫などを是非教えてください。下記のフォームにご記入の上、注文書と一緒に提出下さい。※WEB上でも承っています。こちらQRコードからどうぞご記入ください。facebook上でも承っております。



みそ作りアンケート

.....キリトリ.....

## 手作りみそアンケート 2017

〆切は1月14日（金）まで

**組合員番号 お名前をお書きください。** \_\_\_\_\_

- 1. 手作りみそを作ったことはありますか？**  
ある    ない    作ったことは無いが興味はある  
興味ない
  
- 2. みそ作りしたことがあると書かれた方へ質問です。  
みそ作り歴は何年目ですか？**  
 1-2年目     2-5年目     6-9年目  
 10年以上
  
- 3. みそ作りしたことがある方へ質問です。手作りみそを作ってみての感想を教えてください。（複数回答可）**  
おいしい  
楽しい  
簡単  
経済的  
わが家の恒例イベント  
その他（ \_\_\_\_\_ ）

- 4 手作りみそを作ったことのない方へ質問です。作らない理由を教えてください。（複数回答可）**  
作り方がわからない  
作るのが大変（時間がかかる）  
保管する場所が無い  
以前に失敗したことがある  
その他

**5. 手作りみそのこだわりを教えてください。**

**6. 最後にみそ汁以外のみその使い方を教えてください。**